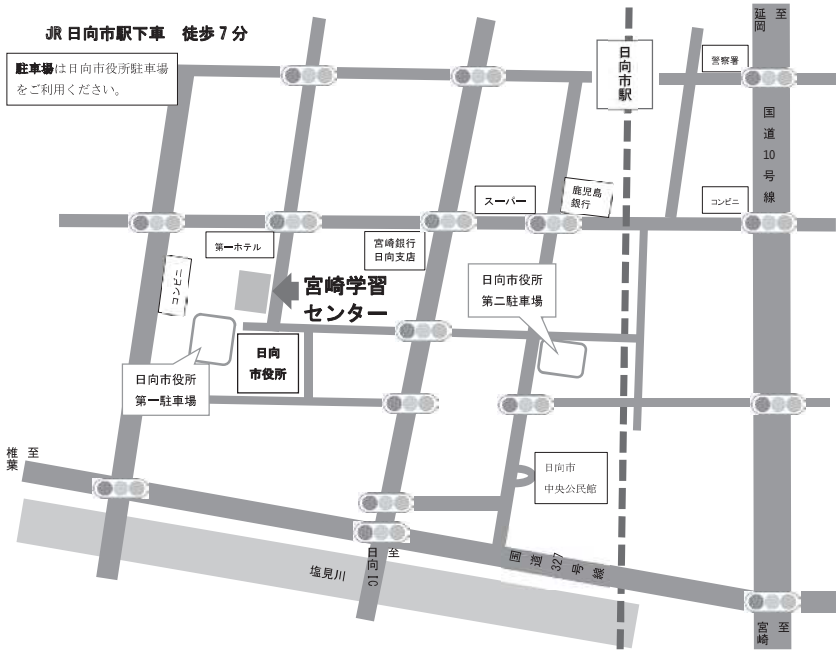
# 宮崎学習センター
## （コード：４５Ａ）

## 宮崎学習センター案内図　☎0982-53-1893




【所在地】〒883-8510　日向市本町11番11号（日向市役所隣）

【交通アクセス】
（1）JR日豊線　日向市駅下車　徒歩7分
（2）宮崎交通バス（延岡線・宇納間線）「商工会館通りバス停」下車　徒歩3分
（3）駐車場　日向市役所駐車場をご利用ください

【その他連絡事項】
・宿泊施設　宮崎学習センターにご相談ください。

| | |
|---|---|
| 科目コード | 2667991 |
| 学習センター（コード） | 45A |
| クラスコード | K |
| 科　目　名 | **論理的な<br>読み書きの技法** |
| 科目区分 | 基盤科目 |
| ナンバリング | 110 |
| 定　　員 | 30名 |
| 担当講師 | 柏葉（カシワバ）　武秀（タケヒデ）<br>宮崎大学教育学部教授 |
| 日程実施時間 | 4月19日（土）<br>第１時限　9:30～11:00<br>第２時限　11:10～12:40<br>第３時限　13:30～15:00<br>第４時限　15:10～16:40<br>4月20日（日）<br>第１時限　9:30～11:00<br>第２時限　11:10～12:40<br>第３時限　13:30～15:00<br>第４時限　15:10～15:55<br>試験・レポート等<br>15:55～16:40 |
| 実施会場 | 宮崎サザンビューティ<br>専門学校501号室<br>（宮崎市老松２－１－１７） |

**授業概要**

大学で必要となる論理的な文章の読み書きの手ほどきを目的とします。他人の論理的な文章を批判的に読み、みずから論理的な文章を書くために必要な技法について講義します。最終的には500字程度のミニレポートを書く能力を身につけるのが目標になります。

**【授業テーマ】**
第１回　論理的思考とは何か１
第２回　論理的思考とは何か２
第３回　論証とは何か１
第４回　論証とは何か２
第５回　論証文を読む
第６回　論証文を書く
第７回　論証型レポートの基本
第８回　論証型ミニレポートの作成方法

**【学生へのメッセージ】**
講義中にワークを行う機会がありますので、心しておいてください。事前に授業で使用する資料を配付しますので、一読しておくことが望ましいです。

**【受講前の準備学習等】**
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。

**【成績評価の方法】**
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

**【受講者が当日用意するもの】**
筆記用具、日本語辞典（電子辞書可）

**【教科書】**
授業当日にプリントを配付します。

**【参考書】**
・思考の教室（戸田山和久／NHK出版／¥1,980／ISBN=9784140818336）
この講義はこの書籍の一部に沿って進みます。購入する必要はありません。

**【その他（特記事項）】**
この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。

| | |
|---|---|
| 科目コード | 2668068 |
| 学習センター（コード） | 45A |
| クラスコード | K |
| 科　目　名 | **デジタルメディアと<br>社会** |
| 科目区分 | 専門科目：情報 |
| ナンバリング | 320 |
| 定　　員 | 20名 |
| 担当講師 | 青木（アオキ）　久美子（クミコ）<br>放送大学教養学部教授 |
| 日程実施時間 | 5月10日（土）<br>第１時限　9:30～11:00<br>第２時限　11:10～12:40<br>第３時限　13:30～15:00<br>第４時限　15:10～16:40<br>5月11日（日）<br>第１時限　9:30～11:00<br>第２時限　11:10～12:40<br>第３時限　13:30～15:00<br>第４時限　15:10～15:55<br>試験・レポート等<br>15:55～16:40 |
| 実施会場 | 宮崎学習センター<br>第１講義室 |

**授業概要**

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

本授業では、デジタルメディアや情報通信技術（ICT）といった技術の活用・普及が、社会にどのような影響を及ぼしているのか、また、反対に、社会や文化が、デジタルメディアの活用・発展にどのような影響を及ぼしているのか、について考えていきます。また、実際にインターネット上で無料で提供されているツールを試用して、インターネット活用の可能性を体験していただきます。

**【授業テーマ】**
第１回　メディアの変遷とインターネット
第２回　モバイルメディア
第３回　ソーシャルメディア
第４回　ジオメディア
第５回　デジタルエコノミー
第６回　オンライン学習
第７回　デジタルメディアとプライバシー
第８回　人工知能（AI）とビッグデータ

**【学生へのメッセージ】**
この授業では、ディスカッションや実習を通して、学生の皆さんに積極的に参加していただきたいと思います。

**【受講前の準備学習等】**
インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
放送大学システムWAKABAに、少なくとも1度はログインしてみてください。また、放送大学のメール（Gmail）をチェックしてください。
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。

**【成績評価の方法】**
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。レポート課題では、授業で扱ったトピックについて、今後自分なりにどう向き合っていくのかを最後にまとめてもらいます。

**【受講者が当日用意するもの】**
１．持参する端末
ノートパソコン又はタブレットを持参してください（スマートフォンのみは不可）。タブレットの場合、キーボードが別にあると良いです。
２．OSの指定
種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。
３．ソフトのインストール
Google Chromeを使用します。
４．その他
・放送大学のシステムにログインするためのパスワード
・Google Chromeの最新版を入手してください。

**【教科書】**
授業当日にプリントを配付します。

**【その他（特記事項）】**
充電を完了した端末と、充電切れが生じた時のためのACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

| | |
|---|---|
| 科目コード | 2668033 |
| 学習センター（コード） | 45A |
| クラスコード | K |
| 科目名 | **西洋近世美術史入門** |
| 科目区分 | 導入科目：人間と文化 |
| ナンバリング | 220 |
| 定員 | 30名 |
| 担当講師 | 船岡（フナオカ） 美穂子（ミホコ）<br>放送大学教養学部准教授 |
| 日程実施時間 | 5月17日（土）<br>第１時限　9:30～11:00<br>第２時限　11:10～12:40<br>第３時限　13:30～15:00<br>第４時限　15:10～16:40<br>5月18日（日）<br>第１時限　9:30～11:00<br>第２時限　11:10～12:40<br>第３時限　13:30～15:00<br>第４時限　15:10～15:55<br>試験・レポート等<br>15:55～16:40 |
| 実施会場 | 宮崎学習センター<br>第１講義室 |

**授業概要**

17世紀から18世紀にかけてのフランスのバロックとロココの美術史をテーマとします。まず、17世紀のバロック様式と絶対王政下の美術政策を取り上げ、古典主義美術と教育制度がいかにして確立されていったかを解説します。この時期にフランスはヨーロッパの大国となり、文化においても中心地となって周辺諸国に影響力を誇るようになります。18世紀になって社会の変化にともなって美術趣味も変容してゆき、華麗で軽快なロココ美術が展開してゆくさまを学びます。

各回、スライド画像を用いて代表的な作品と芸術家、あるいは社会・文化的背景をとりあげて解説します。

**【授業テーマ】**

第１回　バロックとは
第２回　ニコラ・プッサンと古典主義
第３回　ルイ14世統治下の美術政策とアカデミー
第４回　ロココとは
第５回　ジャン＝アントワーヌ・ヴァトーと雅宴画
第６回　フランソワ・ブーシェとオノレ・フラゴナール
第７回　ジャン＝シメオン・シャルダンの静物画と風俗画
第８回　18世紀フランス文化―サロンをめぐって

**【学生へのメッセージ】**

美術作品は、感性だけをたよりにすれば楽しめると思われるかも知れませんが、西洋の神話や宗教、歴史、生活習慣、また図像学の基礎知識を身につけることで、より良く作品を鑑賞できるようになり、西洋の文化的背景への理解も深まるでしょう。

**【受講前の準備学習等】**

事前に、西洋美術史の概説書（ここに挙げた参考書をはじめ、概略的なもので良い）を読み、17世紀から18世紀までの大まかな美術史の流れを理解しておくことが望ましいです。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。

**【成績評価の方法】**

成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

**【受講者が当日用意するもの】**

筆記用具、ノート（講義中は、講師が説明した内容を、自分なりにノートにまとめましょう）。

**【教科書】**

教科書は使用しません。

**【参考書】**

・増補新装カラー版西洋美術史（高階秀爾（監修）／美術出版社／¥2,090／ISBN=4568400643）
・フランス近世の美術（大野芳材／国立印刷局／／ISBN=4172112102）
現在在庫切れのため、古書をご入手いただくか、図書館等にて参照が可能です。
・西洋美術の歴史　17-18世紀：バロックからロココへ、華麗なる展開（大野芳材ほか／中央公論新社／¥4,180／ISBN=4124035969）

**【その他（特記事項）】**

この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

| | |
|---|---|
| 科目コード | 2668076 |
| 学習センター（コード） | 45A |
| クラスコード | K |
| 科目名 | **海洋生物学実習２** |
| 科目区分 | 専門科目：自然と環境 |
| ナンバリング | 320 |
| 定員 | 25名 |
| 担当講師 | 内田（ウチダ） 勝久（カツヒサ）<br>宮崎大学農学部教授 |
| 日程実施時間 | 5月24日（土）<br>第１時限　9:30～11:00<br>第２時限　11:10～12:40<br>第３時限　13:30～15:00<br>第４時限　15:10～16:40<br>5月25日（日）<br>第１時限　9:30～11:00<br>第２時限　11:10～12:40<br>第３時限　13:30～15:00<br>第４時限　15:10～15:55<br>試験・レポート等<br>15:55～16:40 |
| 実施会場 | 宮崎大学農学部<br>フィールド科学教育研究センター・<br>延岡フィールド（水産実験所）<br>（延岡市赤水町376-6） |

**授業概要**

宮崎大学の臨海教育研究施設に1泊し、様々な方法で海の生物を採集し、その多様性を知ること、神秘的なウニの発生現象や魚類の内部器官について学ぶ合宿形式の授業です。海の生物を自らの手で採集し、自らの目で観察することの重要性と楽しさを実地で学ぶ授業です。その様な学びを通じ、海洋環境と生物との関わりを理解し、海洋生態系と人間、食資源との関わりについて理解を深めます。

海の生物の面白さをじっくり味わいましょう。実物に勝るものなしです。

**【授業テーマ】**

第１回　動物の系統進化と多様性（講義）
第２回　ウニの発生実験、ウニの発生観察
第３回　実習船によるプランクトン採集と観察
第４回　魚類の解剖と内部器官の観察
第５回　潮間帯にける動物の生態、無脊椎動物の不思議（講義）
第６回　磯での海洋生物の採集
第７回　採集生物の同定と観察①
第８回　採集生物の同定と観察②、まとめ

**【学生へのメッセージ】**

実習を主体とする２日間の授業を通じ、仲間と協力し、たくさんの海洋生物を集め、自身の目でじっくり観察し、楽しく学びましょう。特別な予備知識はいりません。海の生き物に興味が持てた、大好きになれたと実感できる授業としたいです。

**【受講前の準備学習等】**

シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。

**【成績評価の方法】**

成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

**【受講者が当日用意するもの】**

授業の一部に磯採集を含みます。長袖シャツ・長ズボン、履き古した靴下、日除け帽子（または日除けタオル）、濡れてもよい運動靴またはマリンブーツや長靴など、野外観察と採集ができる服装を準備してください。磯での野外観察では、できるだけ素肌を露出させない工夫が必要です。

**【教科書】**

授業当日にプリントを配付します。

**【参考書】**

・海に暮らす無脊椎動物のふしぎ（中野理枝 著、広瀬裕一 監修／ソフトバンククリィエイティブ／¥1,047／ISBN=9784797363005）

**【その他（特記事項）】**

・延岡フィールドでの宿泊は２～４名の相部屋です。原則、延岡フィールドに宿泊して授業に参加をしていただきたいですが、宿泊を希望しない方は通いでの参加もできますので、宮崎学習センターに問い合わせてください。また、感染症等の状況により、延岡フィールドに宿泊できない場合も想定されます。その場合、施設近隣のホテル等をご自身で予約し、延岡フィールドに通学していただくことも想定されます。あらかじめ、ご了解ください。
・延岡フィールドに宿泊した場合、授業料とは別に、参加費として5000円程度（食費、布団レンタル代、宿泊料、雑費、活魚購入費等）が必要です。参加費は当日現金で徴収します。
・受講できなくなった場合は、事前に宮崎学習センターに連絡してください。
・天候が許せば実習船（定員25名乗り）によるプランクトン採集を行います。この場合、実習船利用料として、500円程度を徴収いたします。
・野外での活動、磯採集のできる服装を持参してください。後日、野外での活動時の注意事項などをまとめたガイダンス資料を、案内文と共に配付いたします。
・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

| | |
|---|---|
| 科目コード | 2668041 |
| 学習センター（コード） | 45A |
| クラスコード | K |
| 科目名 | **成人学習理論を学ぶ** |
| 科目区分 | 専門科目：心理と教育 |
| ナンバリング | 320 |
| 定員 | 40名 |
| 担当講師 | 岩崎（イワサキ）　久美子（クミコ）<br>放送大学教養学部教授 |
| 日程実施時間 | 5月31日（土）<br>第１時限　9:30～11:00<br>第２時限　11:10～12:40<br>第３時限　13:30～15:00<br>第４時限　15:10～16:40<br>6月1日（日）<br>第１時限　9:30～11:00<br>第２時限　11:10～12:40<br>第３時限　13:30～15:00<br>第４時限　15:10～15:55<br>試験・レポート等<br>15:55～16:40 |
| 実施会場 | 宮崎サザンビューティ<br>専門学校501号室<br>（宮崎市老松２－１－１７） |

**授業概要**

成人になってからの学習は、変化する未来への対応であり、自分の成長に対する前向きな働きかけです。学習活動は、人生設計に常に付随し、自分の人生を意味づける行為と言われています。授業では、代表的な成人学習理論を紹介し、それぞれの人生の軌跡や現在の生活の中で生じた自らの課題や経験を振り返ることで、成人が学習する意義をみなさんと一緒に考えてみたいと思います。

**【授業テーマ】**
第１回　成人の学習ニーズ
第２回　アンドラゴジー
第３回　自己決定（自己主導型）学習
第４回　変容的学習
第５回　ナラティブ学習
第６回　経験学習
第７回　身体化された学習
第８回　成人学習理論の総括

**【学生へのメッセージ】**
学びへの関心、動機、意欲のある方の受講をお待ちしております。みなさんのこれまでの人生経験が学習のリソースです。

**【受講前の準備学習等】**
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。

**【成績評価の方法】**
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

**【受講者が当日用意するもの】**
「懐かしい街」のテーマで写真などを使って話をしていただきます。テーマに沿った写真、雑誌記事等を事前にご用意いただき、「第５回ナラティブ学習」の当日にご持参ください。

**【教科書】**
授業当日にプリントを配付します。

**【参考書】**
・成人の発達と学習（岩崎久美子／放送大学教育振興会／¥3,410／ISBN=9784595141171）
改訂版が2025年4月に出版されるため、定価等が変動する可能性があります。

| | |
|---|---|
| 科目コード | 2668017 |
| 学習センター（コード） | 45A |
| クラスコード | K |
| 科目名 | **健康志向の運動実践２** |
| 科目区分 | 基盤科目：保健体育 |
| ナンバリング | 110 |
| 定員 | 20名 |
| 担当講師 | 吉永（ヨシナガ）　砂織（サオリ）<br>宮崎大学医学部准教授<br>畠山（ハタケヤマ）　芳彰（ヨシアキ）<br>宮崎大学医学部助教 |
| 日程実施時間 | 6月7日（土）<br>第１時限　9:30～11:00<br>第２時限　11:10～12:40<br>第３時限　13:30～15:00<br>第４時限　15:10～16:40<br>6月8日（日）<br>第１時限　9:30～11:00<br>第２時限　11:10～12:40<br>第３時限　13:30～15:00<br>第４時限　15:10～15:55<br>試験・レポート等<br>15:55～16:40 |
| 実施会場 | 宮崎大学清武キャンパス<br>総合教育研究棟<br>（宮崎市清武町木原5200番地） |

**授業概要**

糖尿病、高血圧、脂質異常症等の生活習慣病の予防、低体力者や高齢者の介護予防など、健康志向の運動が地域で活発に行われています。しかし、運動により健康障害を引き起こすこともあるため、運動実践においては基本的な知識と技術が必要となります。本講義では、健康について考えながら自身の健康状態や体力を知り、その上で自身に適した運動の種類や方法を理解できるように、健康運動に関する講義と実技を行います。

**【授業テーマ】**
第１回　健康について考える。わが国の健康づくり施策の変遷（担当：吉永）
第２回　体力について考える。体力測定の項目と目的（担当：吉永）
第３回　身体活動のためのエネルギー産生のしくみ（担当：吉永）
第４回　運動とエネルギー消費（担当：吉永）
第５回　体力の測定と評価（担当：畠山）
第６回　目的別運動の選択と評価の視点（担当：畠山）
第７回　健康づくり運動の実践法①（担当：吉永）
第８回　健康づくり運動の実践法②（担当：吉永）

**【学生へのメッセージ】**
皆さん、小・中・高等学校で体力テストを行ったことがあると思います。過去と現在の自分の体力比べをしてみませんか。現状を知り、健康づくりの運動を一緒に実践しましょう。

**【受講前の準備学習等】**
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。

**【成績評価の方法】**
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

**【受講者が当日用意するもの】**
体力測定・運動を行いますので、運動できる服装でお越しください。シューズは室内用の運動靴をご準備ください。また、水分補給のための飲み物を持参してください。

**【教科書】**
授業当日にプリントを配付します。

**【その他（特記事項）】**
この科目は2009～2015年度「共通科目：保健体育」に該当します。
「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

| | |
|---|---|
| 科目コード | 2658615 |
| 学習センター（コード） | 45A |
| クラスコード | K |
| 科　目　名 | **心理学実験２** |
| 科目区分 | 専門科目：心理と教育 |
| ナンバリング | 320 |
| 定　　員 | 20名 |
| 担当講師 | 小澤（オザワ）　拓大（タクヒロ）<br>宮崎学園短期大学<br>保育科准教授 |
| 日程実施時間 | 6月7日（土）<br>第１時限　9:30～11:00<br>第２時限　11:10～12:40<br>第３時限　13:30～15:00<br>第４時限　15:10～16:40<br>6月8日（日）<br>第１時限　9:30～11:00<br>第２時限　11:10～12:40<br>第３時限　13:30～15:00<br>第４時限　15:10～15:55<br>試験・レポート等<br>15:55～16:40 |
| 実施会場 | 宮崎県婦人会館３Ｆ<br>「さくら」<br>（宮崎市旭１－３－１０） |

**授業概要**

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

この授業では３つの心理学実験を行い、得られたデータを分析し、レポートを作成します。予定している実験は、「印象形成」、「自由再生による記憶の系列位置効果」、「メンタルローテーション」です。受講生の皆さんは、原則として８回の授業すべてに出席し、３つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。

**【授業テーマ】**

第１回　オリエンテーション、心理学実験についての概説
第２回　実験１「印象形成」実施・データ整理
第３回　実験１「印象形成」解説・レポートの書き方・レポート執筆指導
第４回　実験２「自由再生による記憶の系列位置効果」実施・データ整理
第５回　実験２「自由再生による記憶の系列位置効果」解説・レポートの書き方・レポート執筆指導
第６回　実験３「メンタルローテーション」実施・データ整理
第７回　実験３「メンタルローテーション」解説・レポートの書き方・レポート執筆指導
第８回　実験における倫理的配慮、まとめ、レポート執筆指導等

**【学生へのメッセージ】**

実験の実施、結果のまとめ、レポートの作成等にパソコンを使用しますので、基本的なパソコン操作は習得されていることを望みます。

**【受講前の準備学習等】**

会場のWi-Fiからインターネットへの接続が必要です。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。

シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。

なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。

**【成績評価の方法】**

成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

**【受講者が当日用意するもの】**

１．持参する端末
　ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可）。
２．OSの指定
　種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。
３．ソフトのインストール
　・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。
　・Excelが必要です。
４．その他
　・ソフトのバージョン指定はありません。
　・紙媒体でレポートを提出してもらいますが、会場にプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。

**【教科書】**

授業当日にプリントを配付します。

**【その他（特記事項）】**

充電を完了した端末と、充電切れが生じた時のためのACアダプタを必ず持参してください。

端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。

なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

| | |
|---|---|
| 科目コード | 2668084 |
| 学習センター（コード） | 45A |
| クラスコード | K |
| 科目名 | **身の回りのあっと驚く化学体験4** |
| 科目区分 | 専門科目：自然と環境 |
| ナンバリング | 320 |
| 定員 | 20名 |
| 担当講師 | 菅本　和寛（スガモト　カズヒロ）<br>宮崎大学工学部准教授 |
| 日程実施時間 | 6月14日（土）<br>第１時限　9:30～11:00<br>第２時限　11:10～12:40<br>第３時限　13:30～15:00<br>第４時限　15:10～16:40<br>6月15日（日）<br>第１時限　9:30～11:00<br>第２時限　11:10～12:40<br>第３時限　13:30～15:00<br>第４時限　15:10～15:55<br>試験・レポート等<br>15:55～16:40 |
| 実施会場 | 宮崎大学木花キャンパス<br>講義棟<br>（宮崎市学園木花台西１丁目１番地） |

**授業概要**

私たちの身の回りは化学物質に満ちており、皆さんは、知らず知らずのうちに色々な化学反応を利用して生活しています。今回は色。黒色は300色ある？とか言われたりしていますが、本当にたくさんの種類があるかを化学の力を利用し身近な物を用いて解明します。本講義では、あっと驚く楽しい化学実験を体験し、その原理（化学反応など）を分かりやすく解説していきます。

**【授業テーマ】**
第１回　合成洗剤の秘密を暴く
第２回　紫外線を当てると見える絵を描こう
第３回　一番輝くエナジードリンクはどれだ？
第４回　野菜から蛍光物質を取り出そう
第５回　CD-Rで光の正体を暴く
第６回　黒は300色？（コーヒーフィルターで色の分析）
第７回　花の色素でセンサーを作る
第８回　虹色の水を作ろう

**【学生へのメッセージ】**
簡単に手に入る身近な物を使ってあっと驚く楽しい化学実験を体験します。本講義では、化学実験を体験後、その原理（化学反応など）をわかりやすく説明します。原理を理解すれば自宅でも家族が驚く化学実験を再現できます。

**【受講前の準備学習等】**
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。

**【成績評価の方法】**
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

**【受講者が当日用意するもの】**
汚れても良い服装で来てください。

**【教科書】**
授業当日にプリントを配付します。

**【その他（特記事項）】**
「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

| | |
|---|---|
| 科目コード | 2668050 |
| 学習センター（コード） | 45A |
| クラスコード | K |
| 科目名 | **日本語の文のしくみ** |
| 科目区分 | 専門科目：人間と文化 |
| ナンバリング | 320 |
| 定員 | 35名 |
| 担当講師 | 田中　利砂子（タナカ　リサコ）<br>南九州大学短期大学部講師 |
| 日程実施時間 | 6月21日（土）<br>第１時限　9:30～11:00<br>第２時限　11:10～12:40<br>第３時限　13:30～15:00<br>第４時限　15:10～16:40<br>6月22日（日）<br>第１時限　9:30～11:00<br>第２時限　11:10～12:40<br>第３時限　13:30～15:00<br>第４時限　15:10～15:55<br>試験・レポート等<br>15:55～16:40 |
| 実施会場 | 南九州大学<br>宮崎キャンパス講義室<br>（宮崎市霧島５丁目１番地２） |

**授業概要**

文法に対して「おもしろくない」とか「難しい」といったイメージを抱いている人は、少なくないのではないでしょうか。なかには、小学校や中学校、高校の国語の時間に品詞や活用形を暗記させられた経験がある人もいるかもしれません。ですが、そもそも文法とは「覚える」ものではなく、「考える」ものです。私たちが普段使っていることばには、規則性があります。ことばを観察し、その規則性について考えるのが文法研究です。本講座では、実際にさまざまな日本語の文を観察し、日本語が持つ文法規則について考えていきます。

**【授業テーマ】**
第１回　はじめに―日本語文法と学校文法
第２回　日本語の文と助詞（1）　格助詞
第３回　日本語の文と助詞（2）　「は」と「が」
第４回　時に関わる表現（1）　テンス
第５回　時に関わる表現（2）　アスペクト
第６回　視点に関わる表現（1）　受動表現
第７回　視点に関わる表現（2）　授受表現
第８回　文末表現

**【学生へのメッセージ】**
ことばは私たちにとって空気のような存在です。そのため、自分が使っていることばを意識することはあまりないかもしれません。自分の言語直観を働かせて、普段自分が使っていることばについて考えてみてください。

**【受講前の準備学習等】**
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。

**【成績評価の方法】**
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

**【受講者が当日用意するもの】**
筆記用具

**【教科書】**
授業当日にプリントを配付します。

**【参考書】**
・日本人のための日本語文法入門（原沢伊都夫／講談社／¥1,012／ISBN=9784062881739）

| | |
|---|---|
| 科目コード | 2668009 |
| 学習センター（コード） | 45A |
| クラスコード | K |
| 科目名 | **エンデの『モモ』を英語で読む** |
| 科目区分 | 基盤科目：外国語 |
| ナンバリング | 110 |
| 定員 | 20名 |
| 担当講師 | 新名（シンミョウ）　桂子（ケイコ）<br>宮崎大学教育学部准教授 |
| 日程実施時間 | 6月28日（土）<br>第１時限　9:30～11:00<br>第２時限　11:10～12:40<br>第３時限　13:30～15:00<br>第４時限　15:10～16:40<br>6月29日（日）<br>第１時限　9:30～11:00<br>第２時限　11:10～12:40<br>第３時限　13:30～15:00<br>第４時限　15:10～15:55<br>試験・レポート等<br>15:55～16:40 |
| 実施会場 | 宮崎サザンビューティ専門学校501号室<br>（宮崎市老松２－１－１７） |

**授業概要**

Michael Ende（ミヒャエル・エンデ、1929～1995）のMomo（1973）は、人間にとって時間とは何か、時を豊かに過ごすにはどうすればよいのか、というようなことを我々に考えさせる深くて面白い魅力的な書です。原文はドイツ語ですが、これを英訳で読みます。感想を皆で共有しましょう。また、Momoの中から場面を選んで演じてみたいと思います。人生の大切な秘密を探求しながら、英語力もつけるという贅沢で楽しい２日間にしたいと考えています。

**【授業テーマ】**
第１回　Momoの読書体験および感想の発表
第２回　Michael EndeとMomoの紹介
第３回　Momoの読解と討論（１）
第４回　Momoの読解と討論（２）
第５回　Momoの読解と討論（３）
第６回　Momoを演じる（１）
第７回　Momoを演じる（２）
第８回　Momoの発表会

**【学生へのメッセージ】**
Momoは現代に生きる我々にとって必読の書です。楽しみながら、人生の叡智を学ぶことになるでしょう。可能ならば、事前配付のテキストにお目通しください。また、できれば翻訳（『モモ』）で全体をお読みいただいておくと理解が深まると思います。

**【受講前の準備学習等】**
事前配付資料を読み、予習をしておいてください。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。

**【成績評価の方法】**
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

**【受講者が当日用意するもの】**
事前配付のテキスト、英和辞典（電子辞書可）、筆記用具

**【教科書】**
授業当日にプリントを配付します。

**【参考書】**
・モモ（シリーズ名:岩波少年文庫）（ミヒャエル・エンデ／岩波文庫／¥880／ISBN=9784001141276）
単行本でも結構です。

**【その他（特記事項）】**
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。
テキストは事前に郵送しますので、なるべくお目通しください。また、受講の皆様のMomoの読書体験や感想を授業の最初に発表していただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

| | |
|---|---|
| 科目コード | 2658569 |
| 学習センター（コード） | 45A |
| クラスコード | K |
| 科目名 | **心理学実験１** |
| 科目区分 | 専門科目：心理と教育 |
| ナンバリング | 320 |
| 定員 | 20名 |
| 担当講師 | 内藤（ナイトウ）　健一（ケンイチ）<br>九州医療科学大学<br>臨床心理学部講師 |
| 日程実施時間 | 6月28日（土）<br>第１時限　9:30～11:00<br>第２時限　11:10～12:40<br>第３時限　13:30～15:00<br>第４時限　15:10～16:40<br>6月29日（日）<br>第１時限　9:30～11:00<br>第２時限　11:10～12:40<br>第３時限　13:30～15:00<br>第４時限　15:10～15:55<br>試験・レポート等<br>15:55～16:40 |
| 実施会場 | 宮崎学習センター<br>第１講義室 |

**授業概要**

３種の実験を行い、それぞれについてレポートを作成します。予定している実験は、情報伝達（バートレットの系列的再生）、ミュラー・リャーの錯視、概念学習です。授業時間中にデータ整理、レポート作成をおこないますが、間に合わない場合は、後日レポートを提出していただきます。受講生の皆さんは、原則として８回の授業すべてに出席し、３つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。

**【授業テーマ】**
第１回　情報伝達（バートレットの系列的再生）
第２回　論文・レポートの書き方、データ整理、レポート執筆指導
第３回　ミュラー・リャーの錯視
第４回　データ整理、レポート執筆指導
第５回　概念学習
第６回　概念学習
第７回　データ整理、レポート執筆指導
第８回　各レポートの再考・修正

**【受講前の準備学習等】**
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。

**【成績評価の方法】**
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

**【受講者が当日用意するもの】**
レポートは、手書きでもノートパソコンを使用して作成してもかまいません。空き時間等で自分のノートパソコンを使用してレポートを作成される方は、学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。

**【教科書】**
授業当日にプリントを配付します。

**【その他（特記事項）】**
心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

| | |
|---|---|
| 科目コード | 2668025 |
| 学習センター（コード） | 45A |
| クラスコード | K |
| 科　目　名 | **認知症の理解** |
| 科目区分 | 導入科目：生活と福祉 |
| ナンバリング | 210 |
| 定　　員 | 30名 |
| 担当講師 | 稲田（イナダ）　弘子（ヒロコ）<br>九州医療科学大学<br>社会福祉学部教授 |
| 日程実施時間 | 7月12日（土）<br>第１時限　9:30～11:00<br>第２時限　11:10～12:40<br>第３時限　13:30～15:00<br>第４時限　15:10～16:40<br>7月13日（日）<br>第１時限　9:30～11:00<br>第２時限　11:10～12:40<br>第３時限　13:30～15:00<br>第４時限　15:10～15:55<br>試験・レポート等<br>15:55～16:40 |
| 実施会場 | 宮崎学習センター<br>第１講義室 |

**授業概要**

「認知症の理解」では、認知症の原因となる主な病気や症状の特性等を学び、それによって引き起こされる心理や行動の変化や日常生活への影響、また、認知症の人の心理状態や認知症の人から見た世界について理解し、認知症本人のみならず介護する家族を含めた支援のあり方や認知症の予防について学びます。

**【授業テーマ】**

第１回　認知症の動向と医学的特徴
第２回　BPSD（認知症の行動・心理症状）と認知症の特性
第３回　認知症の人について理解する（心理・認知症の人から見た世界）
第４回　認知症の人を介護する家族について
第５回　認知症のケアについて①
第６回　認知症のケアについて②
第７回　軽度認知障害と認知症予防について
第８回　総括

**【学生へのメッセージ】**

認知症の人は、2025年には471万人、2035年には565万人になるといわれています。認知症や認知症の人を理解し、認知症の人の意思が尊重され、自分らしく暮らしていくことができる社会にしていきましょう。

**【受講前の準備学習等】**

シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。

**【成績評価の方法】**

成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

**【教科書】**

授業当日にプリントを配付します。

**【その他（特記事項）】**

この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。